

彼は
獣の姿で
ありながら

君

人のようだった

…!

巨躯な狼の姿
鋭い眼差し
だけど

大事…ないか

人と変わらない優しさに
私は恋をした

は…い



昨日新しい
茶屋を教え
貰ったんで
す！

それにと
待たさん
無料とら
ん！

なんと
だが怪
しい…

一夫は
常連さん
が始めて
来たらしく
評判にな
ると

なるほど
ならば是非に

もしかしたら
距離も近
づいたり…

やっ
た定
で男
女限
定！



出会い茶屋…

であつたな

ごめんなさい…

こつこん
な連れ込
むつもり
じゃなく
て…

…構わ
ない

自分
はむしろ
その…
嬉しい

…！
ですが…
私は

あっ…

これを
私の
膣内に…!?

人の
大きさ
じゃない…

!!

モワッ

そうだ
人の
膣に
入る
大きさ
では…!

ハイッ







普段はあんなに
穏やかで



誠実で
かつこいの方が



快感に悶える姿も
狼の本能も



こんなにならなくて
少しだけ顔を
晒してる



えっ?

このままだとっ
布団に

だっ
だめだ

穢してるみたいで
疼く……っ



さすがに
撒き散らしたく

そっそんなの
今更です！

だから
気にせず達して
ください

ぐうう！

精液より
私達の汁でいっぱい
汚れますからッ！

なッ！

…我慢する
必要など
なかったか…ッ







さっきとは
一変して
本能のまま…

私の膣内に
ぶつけてくるっ

ズン
ズン

ズン
ズン

はっ
はっ

はっ
はっ

…

処女膜も
一気に破れて…!!

大きい…!!



まっ
ごん
なは
げし
く

終わ
らせ
ない
ッ

そん
な
も
つ
と
深
く
...



う
そ
つ
更
に
挿
い
っ
て
...
!?

終
わ
ら
な
い
...
ッ



奥
ま
で
も
...
っ
!?

ば
ち
や
...

と
は
あ
...

